

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.453



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2014年9月24日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

子ども・子育て支援新制度来春より

保育水準、引き上げよ

横浜市議会は18日、市長提案の49議案および請願6件に対する採決が行われました。採決に先立って古谷やすひこ議員が日本共産党を代表して、市役所の位置を変更する条例改正案、子ども・子育て支援新制

度に関する6議案、消費税増税撤回を求める請願の不採択について、反対の討論を行いました。

来春から子ども・子育て支援新制度が始まるにあたって、関連条例の整備が必要になります。古谷議員は、

「『支援』と言いながら現行基準より後退するなど数多くの問題があり、今回新たに法定化するにあたって基準も上げるべき、すべての子どもたちが等しく保育を受ける権利を保障すべきという立場から、今回の条例案では不十分ということで反対」と述べました。

(2面に続く)



無料法律相談

10月は2日と16日です

4階以上の保育室、外階段なしでは危険

4階以上に保育室を設置する場合、いままでは非常用外階段が必要でしたが、新制度では屋内階段だけでもよいとしています。古谷議員は、ビル火災で保育士が乳児を抱えて逃げる際に、煙に巻かれてしまうリスクが拡大するとして、「こういうリスクを承知した上で、万が一ビル火災が起こった場合、許認可を出した市長の責任は非常に重い」と指摘しました。

その他、保育運営費の使い方に小規模園等で用途制限が事実上なくなること、小規模園の保育士資格を有する保育者を3分の2で良しとしたこと、横浜保育室を条例の中に位置付けなかったことなどの問題点をあげました。

放課後キッズ、

学童保育の条件整備を



横浜市は、増加する放課後留守宅児童の受け皿として、学童クラブを増やすのではなく、放課後キッズクラブを全校展開

しようとしています。しかし、放課後キッズクラブは5時までは全児童が対象で、留守宅児童の生活の場は併用という位置付けです。古谷議員は、学童クラブの増設とともに、「キッズクラブについては、留守宅児童が安心して放課後を過ごせる生活の場として機能するような条件整備が必要だ」と述べました。



決算特別委員会のお知らせ

2013年度決算の審議が下記の日程で行われます。

9月26日(金) 総合審査

9月29日(月) 建築局、都市整備局

9月30日(火) 消防局、文化観光局

10月1日(水) 港灣局、教育委員会

10月2日(木) 水道局、資源循環局

10月3日(金) 病院経営局、経済局

10月6日(月) 政策局、総務局

10月7日(火) 健康福祉局

10月8日(水) 交通局、市民局

10月9日(木) 道路局、こども青少年局

10月10日(金) 環境創造局、財政局等

10月14日(火) 採決

局別審査は直接傍聴ができます。傍聴にお越しく下さい。
なお、市会HPで中継(生・録画)がご覧になれます。

シリーズ『あおば子育て事情』(161)

こんな学校、嫌だ

江口 寛

二期制の中学校では、先生方は成績処理、連絡表で大忙し。土日には新人戦。体育祭や文化祭の準備にも手が抜けない。事務仕事は生徒が帰ってから、そして、深夜に及ぶ。

最近、現職の国語の先生の勤務実態を聞く機会がありました。

成績をつけるために、作文をひとつひとつ点数化していく。保護者から、「作文が何点か」など質問されたとき答えられるように。1クラス3時間かかる。一度見て評価点A、B、Cの束ごとにして再度見ていく。クラスを超えて、規準に狂いがないかどうか。1回見た後2度目の見直しをする。部屋にこもって午前1時までが3日続いた。4日目も残ろうと思ったが、めまいと吐き気で家に

帰った。
翌日は6時に家を出た。

次に、成績を出しますが、2人組、3人組に

なって点検する。テスト結果を見ながら、観点別に「読む力、何点、聞くこと何点・・・間違いなし。じゃノートの方・・・」と点検する。連絡表を渡した後、苦情が来ないか、ピリピリしている。苦情があれば資料を全部引っ張り出して、間違いなのか最初から確かめる。

自分が現場にいるわけではないが、息がつまって逃げ出したくなった。たとえ、乱雑な字で誤字脱字だらけでも、その子にしかない「思い」にふれるのが、作文指導の醍醐味だったのに。そして、時には重要なサインを発見することもあったのに。

**谷本川は秋**

久しぶりに晴れた朝6時、谷本川沿いをスロージョギング。スロージョギングは認知症対策にいいのだとテレビで見て始めたのだが、続いたのはわずか1ヵ月。それから2年。たまにやるのが精神衛生にいいのだと自分に言い訳しながら走った。二つの白い花が笑っていた。

新中期計画 検証 ②

横浜環状道路整備に 1,037億円

新中期4か年計画（2014年～2017年間）の最大の特徴は、安倍政権の政策実現のために横浜市の莫大な財源が投じられようとしていることです。安倍政権は、アベノミクス第二の矢として、2020年開催の東京オリンピックに照準をあわせ、さまざまな大型公共工事のバラマキを行い、景気を浮揚させようとしています。その実行部隊が大都市横浜ということです。

その典型が高速横浜環状道路北西線（第3京浜港北IC～東名青葉IC）と南線（栄区・戸塚区）です。市は、東京オリンピックに間に合うように北西線の完成時期を前倒しし、南線は土地収用法適用の手続きに踏み込みました。この二つに北線（大黒町～第3京浜港北IC、現在事業中）をあわせた高速道路整備費は、2017年までの新中期計画



中、1,037億円。

日本共産党横浜市議団が行った市政アンケートには、生活道路の整備・補修、歩道の整備や自転車レーンの整備、また、災害時の緊急輸送道路や電線の地中化などの要望が本当にたくさん寄せられています。新中期計画で求められるのは、安倍政権の下請けとしての高速道路整備ではなく、市民の暮らしと安全を守る身近な道路の整備計画です。



ミジンコの独り言 暑さ寒さも彼岸まで。秋分の日を境に日が短くなる。横浜の23日の日の出は5:30、日の入は17:38。これからは秋の夜長を楽しもう。今年の中秋の名月は早く、8日の当日はあいにくの雨模様だった。10月6日の十三夜、171年ぶりに11月5日に出現する「後の十三夜」に期待しよう！（M）

かじしま川内原発 再稼働許さませんー！ まいっぴいじめんぞう